



森林レンジャーあきる野新聞

Vol.13

2011年6月号

発行：森林レンジャーあきる野

夏休みに向けて

今年も市内の清流で、ホタルたちが乱舞する時期になりました。梅雨はあと少しで終わりそうです。夏がやって来ます。今年も非常に熱くなりそうなので、夏休みのお出かけには海や川という目的地のイメージが多くの人頭に浮かぶと思います。今年は例年以上に、涼を求めて多くの人が秋川にやってくるのではないのでしょうか。

市内には、秋川や支流の養沢川などレジャーに適した所が多く、おススメできる場所が沢山あります。そんな中から、ゆったりと時間を過ごせる自分にピッタリなせせらぎスポットを見つけてみてください。来訪者が増えるとともにゴミなども増加する恐れがありますので、あきる野の自然を訪ねていただける皆様にはマナーをちゃんと守って、大自然に影響を与えないように心から願うばかりです。

それでは、事前の計画や準備をしっかりと、また天候の急変による河川の増水などに注意しながら、あきる野の大自然をたっぷり楽しんでください。お待ちしております！

(パブロ)



夏にとっても人気がある秋川の風景

寿大学の講師をしました(6月14日)



中央公民館では、60歳以上の市民を対象とした「寿大学」を開校しています。内容は、文学・歴史・科学・芸術・健康生活など多岐にわたり、社会参加や交流の促進をめざして学ぶ講座です。私たちは、今回「森林レンジャーが見たあきる野の森」について講義を行いました。

講義の内容は、私たちがこれまで見てきたあきる野の豊かな森や貴重な動植物、地域の方と協働で整備を行っている昔道や登山道、そして、環境教育の重

要性と森の子コレンジャーについても紹介させていただきました。約120名の皆さんは、市内に住んでいても知る機会がなかった話にとっても驚いていました。

質疑応答では多くの質問や感想をいただき、皆さんの自然や地域に対する関心が高いことを実感しました。また、私たちが地域の方と協働で整備を行った、深沢地区にある「山抱きの大カシ」を見学に行かれた方がいて、「道も歩きやすく、巨木も素晴らしいので是非皆さん行ってみてください。」と紹介してくださいました。ありがとうございました。私の心に、深沢地区の方の笑顔が思い浮かんだ瞬間でした。今後も、様々なかたちで多くの皆さんにあきる野の素晴らしい自然を紹介していきたいと思っています。

(加瀬澤)

あきる野甲虫劇場



非常に目立つ色のコンビネーション。ハンミョウはあまりにもキラキラしていて、魔法の世界から来たように不思議な甲虫です。

私が生まれた所、南スペインにはとても素晴らしい自然が存在しますが、夏の気候はとても乾燥していて、日本に比べて出会える生き物は少ないです。日本の夏と言えば、やはり昆虫達の出番ですが、南スペインには優しい雨のお蔭で春の方が昆虫のピークとなります。日本にやって来た時、日本の動物に関して最も驚いたことはデカくて、色鮮やかな昆虫が多い！レンジャーの活動中は多くの昆虫によく出会って、目を奪われてしまうことが少なくないです。ここでは市内で出会ったお気に入りの甲虫を紹介したいと思います。どうぞ、「あきる野甲虫劇場」をご覧ください。

(パブロ)



マイマイカブリの色は地味ですが、大きさと体の不思議さで、トップレベルの甲虫です。数が少なくなりました。

シロスジカミキリはとにかくデカイ！見たことありませんか？



キイロトラカミキリは多様な森が好きです。カミキリの仲間は種類によって好む植物が異なりますので、多様な樹木が存在する森ではカミキリ達の種類も多く見られます。やはり、豊かな自然があった方が面白いです。



エメラルドの玉のような虫、ヤマトタムシは榎(エノキ)のある森の付近に姿を現す魅力的な甲虫です。

オオゾウムシはガードします！私が近付いたからでしょうか・・・実は、そんなに大きくないですが、やはりゾウムシとしてはすごい大きさ！



昆虫の王様、カブトムシはやはり毎夏のスターですね。とても人気があって、夏休みになるとカブトムシやクワガタの仲間を楽しそうに採集する子ども達の姿は印象的です。



ルリボシカミキリのルリ色の美しさは10点満点です。似た色をしているブルーシートにとまったのは偶然でしょうか。お気に入りNo.1！